

見晴台発掘ニュース

NO1.547・7・25

見晴台遺跡発掘調査団

第10次調査はじまる！みんなで発掘に参加。見学しよう！＝

また暑い夏がやってきました。ここ見晴台も10日目の調査をおこなったわけ
です。今回は、またらべさ文跡公園へむけての新たな第1ページです。調査をお
なさんの手により成功させ、市民のいこいの場としての公園をつくりあげま
うてはなりませんか！ ニュースNo.1をおとどけします。調査の状況や前にわ
かった点を中心として、みんなで見晴台について考えてゆく資料として、この
ニュースをつくりあげていこうではありませんか！

－発掘についてのおしらせコーナー－

期間：7月25日～8月14日（8月1日はお休みです。）

1日の日程

8:30	作業開始	2:00	しごと再開
10:00	おやすみ	3:15	おやすみ
10:15	しごと	3:30	しごと
12:00	昼休み	5:00	終了：最終の学習会

調査のししよ

調査員
市民のみなさん
中高生
一般参加

団長
副団長
市教育委員会
名寄屋

◎必ずこのコーナー

は読んで下さい。

◎

各係の分担：係の人の名を早くおぼえておこうな点はトットと書いて下さい。
食事係：荒木、小原 会計：井上 器材：伊藤、掘尾、石原
日記：井上 写真：大巻、井上 遺物：栗原、水谷
ニュース：専任のみなさん

班編成

しごとをする際は班を編成します。1日の仕事はすべて班単位で行動
し責任をもってやりましょう。→日直1名をその日にきめること。
(交代制) 清掃美化を中心に仕事をします。→なお班の長は井上さんです。

その他の注意

食事係より：8:30の点呼には必ず集合して下さい。食事を発行しま
すのでさうと登録して下さい。食事をいたすは1日
がんばって仕事をしましょう！

※暑いあついな夏です。自分で健康管理をしましょう※

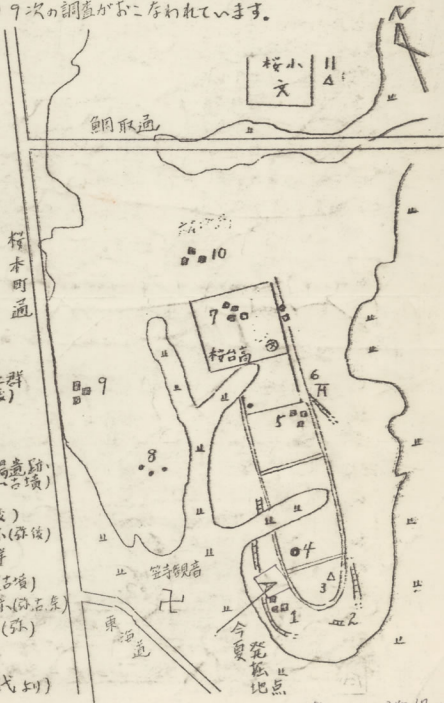
見晴台遺跡の概要(第10次調査へむけて!)

見晴台遺跡は南区見晴町、白雲町、貝塚町にかけての遺跡群の総称であり、いわゆる笠寺丘陵に位置する。時期は弥生後期を中心とし、遺構は住居址群、古墳をとりよぐ壕、貝塚、古墳等が散在する。なお遺跡は笠寺公園建設予定地であり、1964年刊市教育委員会の手により9次の調査がおこなわれています。

見晴台周辺の遺跡分布図

- 1 見晴台住居址群 (弥生後)
- 2 壕
- 3 柵畑塚
- 4 天神塚
- 5 春日野西水場遺跡 (弥生-古墳)
- 6 柵田貝塚 (弥生後)
- 7 柵台高古墳遺跡 (弥生後)
- 8 前田町古墳群
- 9 柵本町遺跡 (古墳)
- 10 六才松南遺跡 (弥生-古墳)
- 11 東郷梅貝塚 (弥生)

(南区の原始古代史)



2人程度でこの調査は行われていた。